



平成 28 年 7 月 日
東部工場

熱中症予防のための場内放送について

1 主旨

今夏も 7 月に入り全国的に熱中症による搬送人数が急増しており、東部工場においても熱中症に対する予防が急務となっている。



工場内では、熱中症を防止するために、水分補給飲料、塩飴等の設置、休憩箇所
の確保など作業環境を整備しているものの、作業中に水分・塩分補給や休息などを
うっかり忘れることも考えられることから、熱中症予防対策の一環として構内アナ
ウンスによる熱中症の注意喚起を行うこととしたい。

2 構内アナウンスの方法

環境省は「熱中症予防情報サイト」<http://www.wbgt.env.go.jp/>
において暑さ指数 (WBGT) メール配信サービスを実施しており、登録すれば福岡
地方の毎朝 31°C 以上の危険域になる時間帯予想を知ることができる。(添付 1)

〇〇係において、毎朝暑さ指数メールを確認し、この時間帯に入る前に、以下の
構内アナウンスを実施する。

(アナウンス内容)

「本日、〇〇時に福岡地方の暑さ指数が厳重警戒域から〇〇°Cを超える危険域に
入ります。作業中の皆さまは熱中症に十分注意され、休憩、水分・塩分補給等自
己管理の徹底をお願いいたします。」

3 アナウンス実施開始

平成 28 年 7 月 15 日から

以 上